ヒパの遵守

HIPAAは、健康保険の携帯性と説明責任に関する法律で、患者の機密データを保護するための基準を定めます。保護された健康情報 (PHI) を扱う企業は、必要な物理的、ネットワーク、およびプロセスのセキュリティ対策をすべて実施し、その後に従う必要があります。

これには、**対象となるエンティティ(CE)、**医療における治療、支払いおよび業務を提供する者、および患者情報にアクセスできる人、治療、支払いまたは操作のサポートを提供するビジネス**アソシエイト(BA)**が含まれます。下請け業者、またはビジネスアソシエイトのビジネス担当者もコンプライアンスを遵守している必要があります。

Coupaは、患者ケアの成果や患者の経験を犠牲にすることなく、この分野で緊急に必要とされる貯蓄を提供するために、医療保険会社やケアプロバイダーと提携することに取り組んでいます。1996年の健康保険の移植性と説明責任に関する法律(HIPAA)に基づき、保険会社およびプロバイダーは、顧客または患者の電子保護健康情報(ePHI)を保護するための措置を講じなければなりません。クーパのヘルスケアクラウドは、HIPAAに必要なePHIの保護を提供します。

Coupaは患者記録管理や患者ケアサービスを提供していませんが、ePHIがスタッフによってクーパに入力された場合には顧客が保護されます。クーパは、ビジネス プロセスまたは統合設計の一部として、医療記録番号 (MRN) などの ePHI を使用することを推奨します。金融取引のコンテキストで ePHI が入力される場合があります。たとえば、経費説明に患者の名前が記載された花の経費報告書の提出、患者の名前または部屋番号を伴う領収書の添付、またはラボレポートを請求書に添付する場合などが挙げられます。クーパは、ePHIの暴露のリスクから顧客を保護します。

HIPAAでは、サービスプロバイダーがePHIを作成、受信、維持、または送信することを許可する保険会社およびプロバイダーは、これらのプロバイダーとビジネスアソシエイト契約(BAA)を締結する必要があります。BAAは、ePHIの保護に対する責任をそれらのプロバイダに拡大します。Coupaのヘルスケアクラウドにより、Coupaはお客様とビジネスアソシエイト関係に入り、支出管理のためにクーパに適切に入力されたePHIがHIPAAの下で義務付けられているように保護されます。Coupaは、行政保護、物理的なセーフガード、技術的保護措置を含むHIPAAが定める基準に従ってePHIを保護するための多くの措置を講じています。

Coupa は、サードパーティ企業との年次監査を完了します。この年次監査は10月に実施され、管理、物理的、および技術的な管理の見直しが含まれます。この年次認証のコピーは、Coupa セルフ ヘルプ サイト :[コンプライアンス レポート要求](https://get.coupa.com/Compliance-Reports_Request-Report.html)からダウンロードできます。

詳細については[、クーパヘルスケアクラウドデータシートを](https://www.coupa.com/pdf/datasheet/CoupaHealthcareCloud.pdf)参照してください。